

別紙

河川砂利採取に係る許認可申請添付書類一覧表

区分	書類名	記載内容等
1	事業計画書	採取の目的、採取地、砂利の用途及び採取量、採取期間、選別場等事業概要を記入する。
2	砂利採取に伴う砂利の搬出経路	採取場、選別場を図示し、それぞれの場所への運搬経路を図示する。
3	採取場付近の状況がわかるもの	採取地及び採取地付近の状況（河川の状況、土砂堆積状況、河川管理施設、許可工作物等）がわかる写真、見取り図など
4	砂利採取計画	月毎の採取量を記載したもの。
5	業務主任者に関する調書	
6	砂利採取業務主任者試験合格証	写し。ただし、富山県における砂利採取業務主任者試験合格者については省略可（その場合は、必ず業務主任者調書に試験の合格年月日、合格番号を記載すること）
7	土地賃貸借契約書その他の砂利採取又は土地使用の権原を証明する書面 （注：河川区域内に民有地があり、民有地から砂利を採取する場合）	写し（抵当権者、耕作者等の同意書を含む。）
8	管轄土木事務所長が必要と認める利害関係者等の同意書 （地元自治会、隣接土地所有者、砂利採取により影響を受ける他産業の事業者（漁業関係者等）、許可工作物等の施設管理者 等）	写し。なお、国有財産及び地方公共団体の財産の使用に係るときは、許可書の写し。
9	他の行政庁の許認可等の状況を証する書面	写し
10	砂利選別場の見取り図	選別機械の配置及び洗浄水の流れを記載したもの。
11	特定施設の届出書	写し
12	土地登記簿謄本 （注：取得不可能なものは除く）	写し（申請前3ヶ月以内のものに限る。）。
13	砂利採取場の公図 （注：取得不可能なものは除く）	写し（申請前3ヶ月以内のものに限る。）。
14	砂利採取場の実測平面図	図示された採取区域等が現地で再現できるよう図面を作成し、砂利採取区域を赤色で着色するとともに、河道、周辺の地形状況、河川管理施設、許可工作物等がわかるよう記載するほか、河川管理施設、許可工作物からの保安距離、河川への乗入れ工、測量年月日を記載する。
15	砂利採取区域の求積図 （実測平面図と併記可）	面積計算が一目でわかるものとし、余白に面積計算の基礎及び計算表を記入する。
16	砂利採取場の実測縦断面図	採取に係る計画地盤面、現況地盤高、掘削深、最深河床高、水位、河川管理施設、許可工作物等を記載するほか、河川管理施設、許可工作物からの保安距離、測量年月日を記載する。
17	砂利採取場の実測横断面図	概ね20m毎に横断面図を作成するものとし、採取に係る計画地盤面、現況地盤高、河床、水位、河川管理施設、許可工作物等を記載するほか、河川管理施設、許可工作物からの保安距離、測量年月日を記載する。また、余白に採取量計算の基礎及び計算表を記載する。
18	富山県土石業協同組合連合会の意見書	
19	施工計画書（a. 施工方法、b. 作業工程表、c. 立入検査計画、d. 業務管理計画、e. 濁水対策、f. 過積載防止対策、g. 業務写真撮影方法、h. 資金計画（注：申請業者が組合又は組合員以外の場合））	a. 採取方法（掘削機械、掘削深、掘削勾配等）のほか、施工手順、仮設工（河川の切り回し、仮設進入路等）、安全対策等を明示する。 bc. パーチャート工程表に施工手順・時期がわかるよう記入する。また、立入検査の時期を明示する。 d. 砂利の採取量、搬出量の管理方法を記入するほか、掘削面積、掘削深、勾配等の管理基準、管理方法を記入。 e. 濁水の発生防止策、濁水発生時の対応を記入。 f. 採取砂利の搬出時の過積載防止に向けた具体策を記入。 g. 業務写真の撮影箇所、頻度、方法を記入。 h. 必要な資金、収支計画を記入
20	誓約書	別添記載例